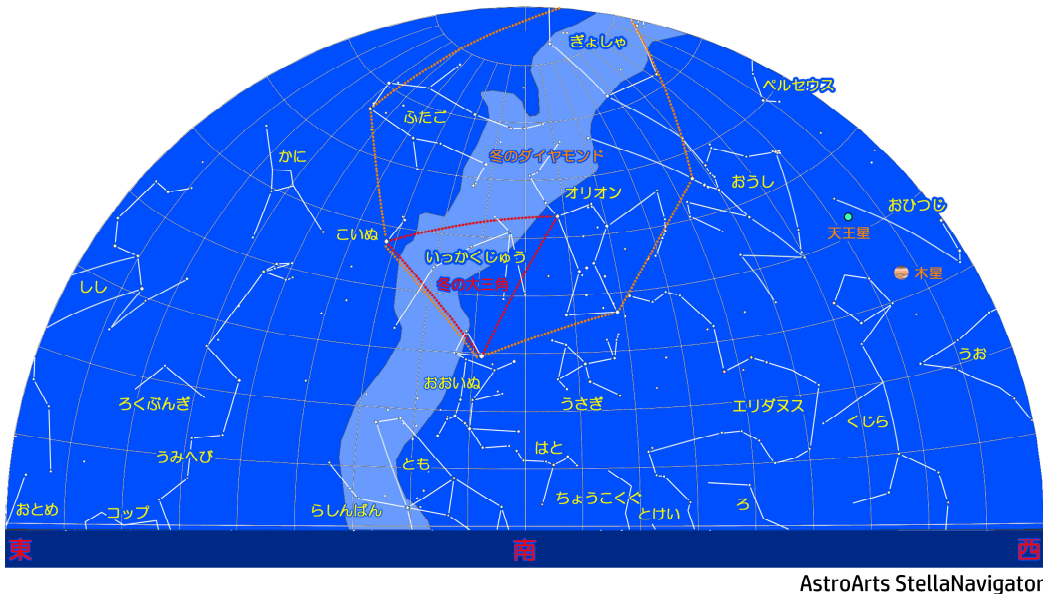




銀河の森天文台

2024年2月みどころ天体情報

2月の星空(15日 20:00頃)



AstroArts StellaNavigator

シリウス(重星)



おおいてぬ座のシリウスは夜空に輝く恒星の中で一番明るい星です。シリウスは実視連星で、気流が安定した夜には明るく輝く主星のシリウスAのそばに寄り添うように伴星のシリウスBを見ることができます。2024年はシリウスAとシリウスBが離れている時期で、シリウスBを見るチャンスとなっています。そして今年はシリウスBチャレンジキャンペーンの最終年です。みなさんもシリウスBにチャレンジしてみましょう。

距離：約8.6光年

イベント・天文現象

2月

～11(日) 冬の天三角と天体観望会
4(木) 立春
28(水) 水星が外合
29(木) 土星が合

3月

8(金)～24(日) 2023年度銀河の森天文台写真展
17(日) 海王星が合、月面X
20(水) 春分
25(月) 水星が東方最大離角

月

	出	没
3日	● 下弦 00:04	10:08
10日	● 新月 06:57	17:02
17日	● 上弦 09:56	00:56
24日	● 満月 16:40	06:22

天文台から月を見ることができるのは14～25日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。
距離：約38万km

M42(散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

M37(散開星団)

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あるので探してみましょう。

今期の木星の見頃もそろそろ終わりを迎えます。今のうちにしっかり楽しみましょう。
太陽からの距離：約7億8000万km

M82(銀河)

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

その他おすすめ

M1(超新星残骸)
M41(散開星団)
M44(散開星団)
M67(散開星団)
M81(銀河)
NGC2392(惑星状星雲)
クリムゾンスター(恒星)
かに座イオタ星(重星)

開館情報

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)
13:00～21:30
(10月～3月)

休館日